

## 奥秩父 ヌク沢左俣

日程:2008年4月27(日)

メンバー:L 白土(記)、菊地

以前登ったときは、300mの大滝ではマルチピッチの快適な滝登りができて楽しい印象があったが、今回は残雪がとても多く予想外の展開に驚いた。

行程:

4/27(日) 西沢溪谷駐車場6:00~6:15ヌク沢出合~8:00二俣~8:45大滝下~10:00大滝上~11:00稜線~12:30木賊山~15:30西沢溪谷駐車場

1/25000 地形図:金峰山、雁坂峠

当初の計画では白馬主稜を登る予定であったが天気が悪いため、日帰りの沢登りとしてヌク沢に転進した。いつもの様にみとみの道の駅で前泊した。めずらしく他の前泊パーティーはいなかった。西沢溪谷の駐車場で準備をして出発。前を1パーティーが歩いている。鶏冠谷あたりか。ヌク沢に入り河原歩きがしばらく続く。F1を越えてからは堰堤の連続となる。二俣では前方の高いところに立派な林道の橋が見える。こんな立派な道を山奥に作って誰が使うのか疑問だ。左俣に入り最後の堰堤を越える。20mの滝を越えると大滝が現れた。滝つぼは雪で埋まっている。水量は少ない。左岸を少し登ったところでザイルを出す。1ピッチ目は私がトップに行くが水が冷たくてすぐに手がかじかんでしまう。流れを越えて右岸に行く気がしなくなり、仕方なく水流のない左岸をそのまま登る。つるべ4ピッチで大滝終

了。水流を避けたせい、前回よりあっけなく終わった気がした。大滝の上に出るとそこは一面雪で覆われていた。あらびつくり。ガスがかかり風も出てきてそこは雪山。寒い…。このまま沢靴で谷を詰めて登れそうにもないので、左岸の尾根に取り付いて早目に稜線に出ることにした。登るにつれて積雪も増え、雪を踏み抜くと股まで潜る。稜線に出ると登山道にカンジキのトレースがわずかに残っていた。濡れた沢靴で雪の上を歩いていると足がとて冷たくなる。だんだん晴れてきて暖かくなってきた。スローペースでひたすら登り、木賊山に着いた。このあたりは小屋泊の登山者と思われるトレースがあった。積雪は1m以上あると思われる。木の上にも少し雪が残り、最近降雪があったみたいだ。入山前、残雪はほとんど気にしていなかっただけにこの雪の量には驚いた。近丸新道と徳ちゃん新道分岐の上くらいまで雪が続いた。そして下りの尾根がとて長く感じた。こここのところの山行は、下りは専らスキーで滑っており、歩いて下るのは久々であるためか下り終わった頃には足がガクガクになってしまった。情けなし…。

今回の行程の核心は大滝以降の雪と下りであった。大滝終了点までは快調に登れたが、逆にその後のほうが大変だったような気がする。1ヵ月後の沢集中山行は甲武信山であるが、稜線の上の方はそのときまでに雪は溶けそうにない。ザラメであれば問題ないが、夕方以降に雪面が凍り始めてから沢靴で歩くのは難儀しそうだ。



雪で埋まった大滝の滝つぼ



大滝



大滝より上は雪が残る



稜線へ向かう